

どんどん深まる小学生たちの国際交流

津森小と大甲國民小学校のオンライン交流

6月25日、津森小6年生と台湾の大甲國民小学校5年生が、2回目のオンライン交流を行いました。

参加した児童たちはカメラを通じて、それぞれの国の特色を伝える家庭の品を、英語を使って一生懸命紹介しました。続いて、お互いの校歌を母国語で合唱し、リコーダー演奏なども披露しました。

恒例となっている質問タイムでは、学校のお昼寝時間、給食の人気メニュー、学習する教科の違いなどの話題で盛り上がり、より一層親交を深めました。



最後はみんなで記念撮影！ 撮影の合図は「3、2、1、つもりー！」

SDGs を学ぶきっかけを贈る

株式会社アミカテラに感謝状を贈呈

町は6月26日、環境に配慮したストロー約4,000セットを町内小中学校に寄贈した株式会社アミカテラに感謝状を贈りました。

本紙6ページでも紹介している通り、町内工場で植物由来のmodo-cell® ストローを製造している同社は、小中学生が地球環境や循環型社会について考えるきっかけができれば、との思いで今回の寄贈を行いました。

増田厚司代表取締役会長は、「循環型社会について、広く子どもたちに伝えていきたい」と語りました。



西村町長から感謝状を受け取った増田代表取締役会長

百歳おめでとうございます

上陳^{しもださだこ}の下田貞子さん

下田貞子さん(大正13年7月1日生まれ)が100歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。

町役場職員として、津森小で調理や学校事務に従事していた下田さん。長寿の秘訣は好き嫌がなく食べることと、健康教室や俳句教室、演劇・コンサートなどの多彩な趣味を通じて、大いに人生を楽しむことです。

息子の祐一郎さんもお祝いに参加。西村町長から表彰状を受け取った下田さんは、祐一郎さんと一緒に、うれしそうに笑顔浮かべていました。



(左から)お祝いに駆け付けた祐一郎さんと貞子さん

Pickup Plus+
今月のプラス



町は、開館から30年以上経過した町民憩いの家のあり方を検討するため、「益城町公の施設のあり方検討委員会」を設置。6月28日に第1回委員会を開催し、井田貴志会長に西村町長が諮問書を手渡しました。今後、委員会は施設の存続も含めた課題について慎重に審議を行い、9月以降、その結果を町に答申する予定です。